

一般社団法人 日本臨床栄養代謝学会 2020年度 事業計画書

I. 事業期間

2020年1月1日～11月30日

II. 事業実施方針

2020年1月1日から「一般社団法人 日本臨床栄養代謝学会」に学会名称を変更したことに伴う、法人登記などの各種変更手続きを進める。日本医学会・日本医学会連合・内外の関係学協会・公的機関等へ学会名称変更のご挨拶を行うとともに、昨年に引き続いた広報活動を行う。代謝及び栄養学の進歩普及に貢献するために、第35回学術集会、各種セミナー（NST専門療法士受験必須セミナー、NST専門療法士更新必須セミナー）、LLL(Life Long Learning)、JSPEN栄養マスターコース、NSTベーシックコース、職能別アドバンスコースなどを開催する。さらに機関誌の発行、e-journal「学会誌JSPEN」の発行、学会ホームページによる広報活動と情報提供、認定医・指導医・認定歯科医、NST専門療法士、臨床栄養代謝専門療法士認定制度に関する事業、専門療法士認定制度では、NST認定教育施設の新規認定及び認定期間更新を実施する。NST施設認定制度では、NST稼働施設の新規認定及び認定期間更新を実施する。臨床栄養推進事業に関しては、ガイドライン委員会による「がん患者のための代謝・栄養管理ガイドライン」の発行に向けた制作を進める。また、臨床栄養コンセンサス検討委員会と実務チーム9領域のWTでは、JSPEN独自の“コンセンサス本”の制作を進め、2021年の発行を目指す。JSPEN支部活動については、各支部長と新世話人会の協力を得て、支部統括委員会にて新支部制度となる8支部体制と支部学術集会の運営に向けた支援を進める。

III. 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

(1) 会員の研究発表会、学術講演会等の開催事業

① 事業名：学術集会開催事業

- ・ 内 容；第35回学術集会の開催、第35回学術集会プログラム集の編集・発行
- ・ 開催場所；京都(国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都、みやこめっせ)
- ・ 開催会期；2020年2月27日～28日
- ・ 対象者；会員および非会員

② 事業名：学術集会支援事業(学術集会実践支援委員会)

- ・ 内 容；学術集会・支部学術集会のあり方について検討する。
- ・ 実施場所；第1回(国立京都国際会館)、第2回・第3回(未定)
- ・ 実施日時；第1回：2020年2月28日、第2回・第3回：未定(委員会)
- ・ 対象者；委員会委員

③事業名：各支部例会開催事業(8支部)(支部統括委員会)

- ・内容：各支部にて支部学術集会を開催し、静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する学際的かつ学術的研究の発表を行う。
- ・実施場所：前支部制度または新支部制度のエリアで行う。
- ・実施日時：2020年度中に各支部で決定する。
- ・対象者：会員および非会員

(2) 機関誌、論文図書等の刊行事業

①事業名：e-journal『学会誌JSPEN』の発行に関する事業(編集委員会)

- ・内容：静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する論文をe-journal『学会誌JSPEN』に掲載する。
- ・実施場所：学会ホームページ マイページ内にて公開、6ヶ月後にJ-STAGE 上で公開
- ・実施日時：『学会誌JSPEN』は年7回発行(Supplement含む)
Vol. 2 No. 1~No. 5 (発行予定：2月、4月、7月、9月、11月)
Vol. 2 Supplement1 第35回学術集会・プログラム抄録集
Vol. 2 Supplement2 学会の認める地方会・研究会抄録集
- ・対象者：会員および非会員

②事業名：e-journal『学会誌JSPEN』の編集に関する事業

- ・内容：静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する研究論文を査読し、学会誌の編集を行う。
- ・実施場所：第1回・第2回：東京(学会事務局)
- ・実施日時：第1回：2020年1月26日、第2回：2020年8月頃(編集委員会)
『学会誌JSPEN』は年7回発行(Supplement含む)
Vol. 2 No. 1~No. 5(発行予定：2月、4月、7月、9月、11月)
Supplement1 第35回学術集会・プログラム抄録集(学術集会会長が編集)
Supplement2 学会の認める地方会・研究会抄録集
- ・対象者：委員会委員、査読委員、随時(オンライン投稿審査システム(Editorial Manager®))

③事業名：国際英文誌ジャーナルの購読に関する事業

- ・内容：医学系出版社KARGER(カルガー)社発行の国際英文誌ジャーナル「ANNALS OF NUTRITION AND METABOLISM」を英文誌のオフィシャルジャーナルとして提携し、会員向けのオンライン購読のサービスを行う。
- ・実施場所：会員マイページ上
- ・対象者：会員

④事業名：「日本臨床栄養代謝学会」としての「静脈経腸栄養テキストブック」の発刊

- ・内容：学会名が変更となり、さらに最新の知見を含んだ内容にすべき箇所もあることから、現行テキストブックを改訂し、新刊を発行する。本事業は「JSPENプロジェクト P 004」として、テキストブック改訂プロジェクトチームを組織し、編集作業を開始する。本テ

キストブックは、2021年の第36回学術集会時の発刊を目指す。

- ・実施場所；メール審議、必要に応じて開催
- ・実施日時；随時
- ・対象者；代議員・学術評議員を対象に執筆依頼を行う。

（３）内外の関係学術団体との連絡及び提携

①事業名：国際交流に関する事業(国際委員会)

- ・内容；日本の静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関連して、国際社会(ESPEN、ASPEN、PENZA、IASMEN)に向けた情報交換を行うことを通して本学会の活動のレベルアップを図るとともに、当該領域の国際的情報について会員への提供を行う。
さらに、ESPEN(Council Meeting、JSPEN-ESPEN Leadership Meetingを含む)、ASPEN(ASPEN Leadership Meetingを含む)、PENZA(Executive Meetingを含む)への参加を行う。
- ・実施場所；①ESPEN：ニース(フランス)、②ASPEN(Clinical Nutrition Week)：タンパ(USA)、③第1回：京都(京都国際会議場)、④ESPEN2020：リヨン(フランス)、⑤PENZA：バンコク(タイ)
- ・実施日時；①2020年1月17日～19日(ESPEN Council Meeting)、②3月28日～31日(ASPEN)、③第1回：2月27日(委員会)、④9月19日～22日(ESPEN2020)、⑤10月29日～31日(PENZA)
- ・対象者；①②④⑤(③を除く)会員、③委員会委員

（４）栄養学に関する研究及び調査

①事業名：在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料の算定に関するEDCを用いた症例登録型データベース構築事業(REDCapプロジェクト)

- ・内容；大規模かつ多施設によるレジストリ型データベースを活用し、平成30年度診療報酬改訂で新設の在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料の算定患者の実態を把握し、転帰を評価後改訂の検討に加え、管理面での標準化を図る目的で、本事業はスタートしている。未だ参加施設が少なく、目的実現のためには多くの施設の参加が必要で、広報活動を実施する。さらに今回初めて導入したEDCシステムの周知を図る。並行して登録症例データの質的管理を行う。
- ・実施場所；①京都(国立京都国際会館)、②東京(学会事務局)、③必要に応じて各地域
- ・実施日時；①2020年2月27日(説明会)、②随時(委員会)、③未定
- ・対象者；①③会員所属施設、②プロジェクトメンバー、③プロジェクト参加希望施設医療従事者

②事業名：臨床研究推進事業(誤接続防止対策プロジェクト)

- ・内容；新経腸栄養コネクタ ISO 80369-3の情報提供と導入方法の啓発活動として、ISO誤接続防止経腸栄養コネクタ ISO 80369-3の本邦への導入に向けた、社会啓発、会員への情報共有を行う。
- ・実施場所；各会員施設、本会学術集会、支部学術集会、各教育セミナー
- ・実施日時；随時
- ・対象者；会員と会員施設および非会員

- ③事業名：新経腸栄養コネクタ ISO 80369-3に関する情報収集(誤接続防止対策プロジェクト)
- ・内容；ISO誤接続防止経腸栄養コネクタ ISO 80369-3に関する管理方法や製品の情報収集を行う。
 - ・実施場所；随所
 - ・実施日時；随時
 - ・対象者；学術団体、企業など

- ④事業名：nutritionDayプロジェクト参加推進事業(国際委員会 nutritionDay WG)
- ・内容；ESPENが始めた、より安全かつ有効な栄養療法を模索するためのプロジェクトである nutritionDayプロジェクトに参加する。すなわち、2020年11月(日付未定)を nutritionDayと定め、入院患者の栄養状態を把握する国際的なアンケート調査を全世界的に行う。また、ESPENの際に開催されるnational coordinator meetingにも出席し、参加各国との交流及び情報交換を行う。
 - ・実施場所；①会員施設、②第1回：京都(国立京都国際会館)、③ESPEN2020：リヨン(フランス)
 - ・実施日時；①2020年11月(予定)(nutritionDay)、②2020年2月27日(WG会議)、③2020年9月19日～22日(ESPEN2020)
 - ・対象者；①会員施設、②③WGメンバー

(5) 栄養サポートチーム (NST) の普及と質の向上に関する事業

- ①事業名：NST医師教育セミナー開催事業(教育委員会)
- ・内容；栄養管理に関する教育、NST運営(NST加算取得に必須条件)のために、医師を対象としたセミナーを開催する。本セミナーは、日本外科代謝栄養学会ならびに日本臨床栄養代謝学会の共催にて開催されるもので、栄養サポートチーム加算の施設基準要件である専任医師の10時間以上の研修に該当する。日本外科代謝栄養学会 理事長 土岐祐一郎・日本臨床栄養代謝学会 理事長 東口高志・日本外科代謝栄養学会第57回学術集会 会長 東口高志先生同意の下に同学術集会中に開催予定である。
 - ・実施場所；名古屋国際会議場
 - ・実施日時；2020年7月31日～8月1日
 - ・対象者；会員および非会員 約150名(予定)
- ②事業名：TNT 研修会開催事業(TNT 委員会)
- ・内容；栄養管理に関する教育、NST 運営(NST 加算取得に必須条件)のために、医師を対象とし、研修会(スクール・ワークショップ形式)を開催する。さらに、TNT の在り方、開催方法などを検討する。
 - ・実施場所；北海道、東北、首都圏、関東甲信越、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州の各地区にて年 15 回の研修会を開催する。
 - ・実施日時；各地区にて開催
 - ・対象者；会員および非会員

③事業名：NST稼働施設認定事業(NST委員会)

- ・内容；NST活動が一定の基準を満たしている施設を書類審査後、認定し公開する。
- ・実施場所；①メール審議、②東京(学会事務局)
- ・実施日時；①2020年10月～11月、②11月頃
- ・対象者；NST立ち上げ宣言を行っている施設で、NST稼働施設への申請施設(新規・更新)

④事業名：NSTフォーラム開催事業(NST委員会)

- ・内容；学術集会開催期間に各医療機関の診療におけるNSTの貢献内容を討議し、各施設の活動の質を向上維持することに寄与することを目的としたフォーラム開催の準備を行う。JSPEN2020では、「極めよう！NSTの進むべき道」をテーマに在宅から大規模病院にわたる模範となるべき栄養管理に関する発表により会員施設のNST活動の質・量に及ぶ活性化を目指して、全国レベルでの栄養管理の活性化はひいては診療報酬に反映されることを目的とする。また、第36回学術集会時(JSPEN2021)でのNSTフォーラムの企画を行う。
- ・実施場所；①京都(国立京都国際会館)、②京都(国立京都国際会館)フォーラム開催、③メール審議、④東京(学会事務局)
- ・実施日時；①2020年2月28日(委員会)、②2月28日(NSTフォーラム)、③10月～11月、④11月頃
- ・対象者；①②③④委員会委員、②学術集会参加者

⑤事業名：NSTフォーラム参加クレジット制度開始準備作業(NST委員会)

- ・内容；第36回学術集会から導入予定のNST稼働認定施設の更新要件として新たな参加クレジット制度における実務上の手順等の確立作業を行う。
- ・実施場所；①メール審議、②東京(学会事務局)
- ・実施日時；①随時、②2020年10月頃
- ・対象者；①②委員、次期会長、教育委員長、総務委員長

⑥事業名：NST委員会ホームページのリニューアル作業(NST委員会・総務委員会・広報WG)

- ・内容；NST委員会ホームページ(<http://www.nst-jspen.com/intro.html>)を現在の学会ホームページ(<https://www.jspen.or.jp/>)へ移築し、リニューアルを行う。
- ・実施場所；①メール審議、②東京(学会事務局)
- ・実施日時；①随時、②2020年7月までに必要に応じて開催
- ・対象者；NST委員会、総務委員会、広報WG

⑦事業名：NST施設登録情報提供事業(NST委員会)

- ・内容；国内でNSTによる活動を始めた施設を学会のデータベースに登録し(「NST立ち上げ宣言」を行った施設の登録)、活動にあたって必要な情報を優先的に提供する。さらに、チームによる活動を始める前の準備をしている個人にも情報を提供できるようにメーリングリストを整備する。
- ・実施場所；NST委員会ホームページ(登録)、メール(メーリングリスト)
- ・実施日時；随時
- ・対象施設；会員が所属する医療施設

(6) 研究の奨励と優秀な業績の表彰

①事業名：研究推進事業(記念AWARD選考WG：小越章平記念Best Paper in The Year選考)

- ・内 容；賞の選考
選考基準に従い受賞者を決定する。受賞者は第36回学術集会にて受賞者講演を行う。
- ・実施場所；メール審議、必要に応じて会議
- ・実施日時；2020年11月頃(選考WG)
- ・対象者；WGメンバー

②事業名：研究推進事業(フェローシップ選考WG)

- ・内 容；1)賞の選考
フェローシップ賞へ応募のあった臨床栄養代謝に関わる研究から7演題を採択し、第35回学術集会の応募者セッションで発表いただき、最終的に優秀な演題を選定する。受賞者は2020年度総会・学術評議員会にて表彰する。
- ・実施場所；①第35回学術集会ホームページ上、②③④京都(国立京都国際会館)
- ・実施日時；①2019年6月18日～8月6日まで(8月15日まで演題登録延長)、②2020年2月27日(選考WG)、③2月27日(応募者セッション)、④2月28日(判定会議)
- ・対象者；①③会員、②④選考WGメンバー
- ・内 容；2)フェローシップ賞の受賞講演
2019年フェローシップ賞の受賞者に対し、第35回学術集会にて受賞講演を開催し、受賞者に賞を授与する。
畠山淳司(横浜市立みなと赤十字病院 集中治療部)
「滅菌密閉型容器使用下での経腸栄養持続投与時の細菌汚染の検証：前向き介入研究」
- ・実施場所；京都(国立京都国際会館)
- ・実施日時；2020年2月28日(フェローシップ賞受賞者講演)
- ・対象者；会員

③事業名：研究推進事業(学術AWARD選考：スカラシップ賞選考)

- ・内 容；1)受賞講演
下記のJSPENスカラシップ賞受賞者に対し、第35回学術集会にて受賞者による研究成果の講演を開催する。
受賞者名：神谷貴樹(滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部)
「造血幹細胞移植患者における栄養摂取不良予測因子の探索」
- ・実施場所；京都(グランドプリンスホテル京都)
- ・実施日時；2020年2月28日
- ・対象者；会員
- ・内 容；2)賞の選考
選考基準にしたがい、受賞者を決定する。
- ・実施日時；①2020年9月1日～9月30日(会員マイページにて公募)
②2020年10月頃(選考WG)
- ・対象者；①会員、②WGメンバー

④事業名：研究推進事業(学術AWARD選考：YOUNG INVESTIGATOR AWARD選考)

- ・内容：賞の選考
選考基準にしたがい、受賞者を決定する。受賞者は第36回学術集会時の総会・学術評議員会時に表彰する。
- ・実施場所：①会員マイページにて公募、②メール審議
- ・実施日時：①2020年9月1日～9月30日、②2020年11月頃(選考WG)
- ・対象者：①会員、②WGメンバー

⑤事業名：研究推進事業(学術AWARD選考：YOUNG DOCTORS AWARD選考)

- ・内容：賞の選考
選考基準にしたがい、受賞者を決定する。受賞者は第36回学術集会時の総会・学術評議員会時に表彰する。
- ・実施場所：①会員マイページにて公募、②メール審議
- ・実施日時：①2020年9月1日～9月30日、②2020年11月頃(選考WG)
- ・対象者：①会員、②WGメンバー

⑥事業名：学会への功績に対する表彰事業(記念AWARD選考WG：大柳治正記念学術振興アワード選考)

- ・内容：賞の選考
選考基準にしたがい、受賞者、関連講演者を決定する。受賞者、関連講演者には、第36回学術集会にて、受賞講演・関連講演をお願いする。
- ・実施場所：メール審議、必要に応じて会議
- ・実施日時：随時
- ・対象者：WGメンバー

(7) 栄養学に関する情報や指針の提供

①事業名：静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する情報提供事業(広報WG)

- ・内容：本学会のWEBサイトの運用を通じて、静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する広報活動を行うと共に国内外の静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関連した最新の情報を提供する。
- ・実施場所：①学会ホームページ、②メール審議
- ・実施日時：①②随時
- ・対象者：①会員および非会員、②WGメンバー

②事業名：JSPEN「Newsletter」発行事業(広報WG)

- ・内容：学術集会、各種セミナーの告知、学会からの連絡事項などを会員に通達するためのJSPEN「Newsletter」を発行する。
- ・実施日時：2020年1月、4月、7月、10月発行(年4回予定)
- ・実施場所：メール審議
- ・対象者：WGメンバー

③事業名：栄養学に関わる用語解説事業(用語委員会)

- ・内容；1)臨床栄養代謝学で必要な用語を正しく適切に用いるための解説を行う。「学会誌 JSPEN」へ順次掲載する。執筆については、委員会メンバーのみでなく、本委員会にて協議し適任と思われる代議員・学術評議員に執筆依頼をする。
2)適切な医学用語の管理と推進のため日本医学会用語委員会へ出席し、本会用語解説との整合を行う。
- ・実施場所；①第1回：京都（国立京都国際会館）、②メール審議、③機関誌等、④東京（日本医師会）
- ・実施日時；①第1回：2020年2月28日、②随時、③学会誌 JSPEN、④2020年11月頃
- ・対象者；①②委員会委員、③会員および非会員（臨床栄養に携わる全ての国民への情報提供）、④用語委員会委員長もしくは日本医学会用語(代)委員

(8) 社会に対する栄養に関する情報提供と啓発

①事業名：ガイドライン作成事業(ガイドライン委員会)

- ・内容；ガイドライン(癌)の作成において、GRADE班ではClinical Question (CQ)、Narrative班ではテーマの検討を行う。(ガイドライン作成WG(GRADEパネル班とNarrative班))
 - ◆GRADE班
 - 1) GRADE班におけるsystematic review班の人員確保
 - 2) GRADE班のCQに対するパブリックコメントの募集
 - 3) GRADE班の各CQのエビデンス収集とエビデンス評価の統合(systematic review班)
 - 4) 推奨作成、ガイドライン草案作成(ガイドライン作成WG(パネル班))
 - 5) 外部評価
 - 6) ガイドライン最終決定(ガイドライン作成WG(パネル))
 - ◆Narrative班
 - 1) テーマの策定
 - 2) 解説の作成
- ・実施場所；①第1回：京都（国立京都国際会館）、②第2回：神戸（神戸大学医学部附属病院）、③Slack審議随時、④学会ホームページ上
- ・実施日時；①2020年2月27日、②2020年5月1日(委員会)、③その他1～2回の開催を予定、④パブリックコメントは進行スケジュールにより調整
- ・対象者；①②③委員会委員、④パブリックコメントは会員および非会員

②事業名：JSPEN「コンセンサス」作成事業(臨床栄養コンセンサス検討委員会)

- ・内容；JSPEN「コンセンサス」本を発行することを目標として、9領域のWTにて作業を進める。
- ・実施場所；①京都(国立京都国際会館)、②メール
- ・実施日時；①2020年2月27日(委員会)、②随時
- ・対象者；委員会委員、9領域WTメンバー

③事業名：9領域コンセンサス作成事業(9領域WT)

- ・内容：第35回学術集会時に各領域WT会議を開催し進捗状況について確認する。2020年は2019年で検討されたCQ候補を各WTでデルファイを重ね、最終的なコンセンサス候補を決定する。また、関係学会へのパブリックコメントを依頼し、2021年の発行を目指す。
- ・実施日時：①第35回学術集会時に各WTにてWT会議を開催、②随時
- ・対象者：①②委員会委員、9領域WTメンバー

(9) 医療政策に関する提言

①事業名：2022年度診療報酬改定に関する申請事業(保険委員会)

- ・内容：2020年度診療報酬改定結果に関して、関係団体や委員会内での討議、及び会員へ情報の提供を行う。さらに、未来に向けた制度としての懸念について厚生労働省保険局と意見交換を行い、次回の診療報酬改定に反映させるべく要望する。また、外保連を通じて情報収集、アンケートへ返答を行う。
- ・実施場所：東京(外保連事務局、厚生労働省)
- ・実施日時：未定(外保連会員総会、委員会など)
- ・対象者：行政、静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学の関係団体、委員会委員

②事業名：特別用途食品に関する申請事業(保険委員会)

- ・内容：病者用食品の総合栄養食品における半固形物性の許可基準に関して、日本栄養材形状機能研究会での討議、消費者庁とその根拠となるべき物性評価の実施を踏まえ、科学的根拠を提供する。
- ・実施場所：①東京(消費者庁など)、②メールによる審議
- ・実施日時：①未定、意見交換は随時、②随時
- ・対象者：行政、特別用途食品等に関する団体(日本栄養材形状機能研究会、日本流動食協会)、委員会委員

③事業名：アミノ酸を含む輸液製剤の禁忌変更に関する要望事業(保険委員会)

- ・内容：アミノ酸輸液、あるいはこれを含むキット製剤の禁忌のうち、栄養学的に修正すべき点について要望書を提出しており、禁忌条項の修正作業が進んでいる。改訂実現に向け厚生労働省やPMDAなどと協議する。改訂後は、関係学術団体を含め医療現場への広報活動を実施する。
- ・実施場所：①東京(厚生労働省、PMDA)、②メールによる審議
- ・実施日時：随時(担当行政官との面談・メールによる問い合わせ対応、意見交換など)
- ・対象者：行政、輸液栄養等に関する団体(日本透析医学会、日本集中治療学会)、委員会委員

④事業名：医薬品経腸栄養剤の経口処方の査定に関する都道府県格差についての情報提供(保険委員会)

- ・内容：一部の都道府県において、医薬品経腸栄養剤の経口での処方が全く認められない(一律査定される)審査運用がされている現状から、厚生労働省より情報提供依頼を受け、関

連関係機関と調査・報告し、格差の解消を要望する。

- ・実施場所；①東京(医薬品経腸栄養剤研究会)、②メールによる審議
- ・実施日時；未定、メールによる意見交換など。
- ・対象者；行政、医薬品経腸栄養剤等に関する団体(医薬品経腸栄養剤研究会)、委員会委員

⑤事業名：ホームヘルパー等の介護職や介護福祉士等の認定特定行為業務従事者による経管経腸栄養法の接続などの実施における対象となる手技の表現を現在の限定的な表現から食道ろうなどを含めた表現に緩和する嘆願書の共同提出(保険委員会)

- ・内容；ホームヘルパー等の介護職や介護福祉士等の認定特定行為業務従事者による経管経腸栄養管理において認められているチューブの接続などの医療行為の実施について省令に「食道ろう」の記載が無い場合、経皮経食道胃管挿入術percutaneous trans-esophageal gastro-tubing (PTEG)等によって造設された食道ろうからの経管栄養患者が看護師在籍のない後方施設では受け入れ不可能となっている現状から、患者の不利益解消を要望するため行政へ向け共同要望書を提出、実現に向け必要時意見交換を行う。
- ・実施場所；未定
- ・実施日時；未定、メールによる意見交換など。
- ・対象者；行政、PTEGや在宅診療等に関する団体、委員会委員

(10) 認定に関する事業

①事業名：代謝栄養の専門医師育成、認定事業(認定・資格制度委員会)

- ・内容；1)認定医・認定歯科医 認定試験問題を作成し、認定試験を実施する。
2)認定医・指導医の新規および更新審査を実施する。
3)認定歯科医の審査を実施する。
- ・実施場所；①大阪(認定試験WG)、②国立京都国際会館(認定試験)、③名古屋(合否判定会議)、④東京(申請書類審査)、⑤大阪(認定会議)
- ・実施日時；
【新規】・認定医・認定歯科医…①2020年4月～8月(認定試験WG)、
7月1日～31日(認定医・認定歯科医申請受付)、8月～9月(申請書類審査)、
②10月(認定試験)、③11月(認定試験合否判定会議)、11月(認定試験合格者発表)
・指導医…2020年8月1日～9月30日(申請受付)、④10月(申請書類審査)、⑤11月(認定会議)
【更新】・認定医・指導医…2020年1月～2月更新案内、8月1日～9月30日(申請受付)、
④10月～11月(申請書類審査)、⑤11月(認定会議)
- ・対象者；委員会委員、認定医・指導医申請者(新規・更新)、認定歯科医申請者

②事業名：NST専門療法士育成、認定事業(認定・資格制度委員会)

- ・内容；1)専門療法士認定試験問題の作成と認定試験を行う。
2)専門療法士更新の審査を行う。
- ・実施場所；①大阪(認定試験WG)、②東京(書類審査会)、③国立京都国際会館(認定試験)、④名古屋(合否判定会議)、⑤大阪(認定会議)

- ・実施日時；①2020年4月～9月（認定試験WG）、6月1日～7月31日（専門療法士新規・書類審査合格者・未更新者申請受付）、7月1日～31日（専門療法士更新申請受付）、②9月（専門療法士認定新規申請書類審査）、9～10月（不備書類再提出、審査）、③10月（認定試験）、④11月（認定試験合否判定会議）、11月（合格者発表）、⑤11月（認定会議・専門療法士更新申請書類審査）

- ・対象者；委員会委員、専門療法士申請者（新規・更新）

③事業名：臨床栄養代謝専門療法士認定事業

- ・内容；臨床栄養代謝専門療法士の暫定認定の審査を行う。
- ・実施場所；①東京（学会事務局）、②大阪（認定会議）
- ・実施日時；①2020年5月1日～6月30日（予定）（暫定認定申請受付）、②7月～11月（暫定認定申請書類審査）
- ・対象者；専門療法士更新認定者

④事業名：NST専門療法士育成、施設認定事業（認定・資格制度委員会）

- ・内容；NST専門療法士育成のための施設認定審査（新規・更新）を実施する。
- ・実施場所；①学会ホームページにて公示、②大阪（認定会議）
- ・実施日時；①2020年10月（教育認定施設の新規・更新申請受付）、②11月（認定会議・申請書類審査）
- ・対象施設；認定教育施設への申請施設

⑤事業名：「学会の認める全国学会・地方会・研究会」認定事業（認定・資格制度委員会）

- ・内容；1) NST専門療法士新規・更新条件単位取得のための「学会の認める全国学会・地方会・研究会」（新規・更新）を実施する。
2) 2単位の研究会を対象に活動状況について調査を行う。
- ・実施場所；①学会ホームページにて公示、②大阪（認定会議）
- ・実施日時；①2020年10月（教育認定施設の新規・更新申請受付）、②11月（認定会議・申請書類審査）
- ・対象施設；認定教育施設への申請施設

⑥事業名：NST専門療法士更新必須セミナー開催事業（認定・資格制度委員会）

- ・内容；NST専門療法士認定者のさらなる質の向上のために、NST専門療法士を対象とし、資格更新のためのセミナーを開催する。
- ・実施場所；第1回：京都、第2回：大阪、第3回：京都、第4回：横浜
- ・実施日時；第1回：2020年2月27日、第2回：4月26日、第3回：5月17日、第4回：10月11日
- ・対象者；NST専門療法士（約2,250名〔第1回：800名、2回：500名、第3回：570名、第4回：380名〕）

(11) 教育に関する事業

①事業名：JSPEN栄養マスターコース開催事業（教育委員会）

- ・内容；臨床栄養に高いレベルで更に精通した人材の育成を目的とする実践的な知識の学習（主に実際の症例検討を参考に）を目指すコースを開催する。

- ・実施場所；第7回：名古屋、第8回：名古屋
- ・実施日時；第7回：2020年4月5日、第8回：2020年10月4日
- ・対象者；会員(約160名[第7回：80名(予定)、第8回：80名(予定)])

②事業名：LLL(Life Long Learning)開催事業(教育委員会 LLL WG)

- ・内容；LLLライブコースの開催
ESPENの教育ツールを用いて、栄養管理に関するAdvanced Courseの教育のために、講習会を開催する。
- ・実施場所；第18回：東京、第19回：名古屋
- ・実施日時；第18回：2020年3月14日～15日、第19回：2020年8月(予定)
- ・対象者；会員および非会員(医師およびメディカルスタッフ)延べ約120名(予定)

③事業名：LLL WG会議の開催(教育委員会 LLL WG)

- ・内容；LLLライブコースの開催に関する方針の作成のため、会議を行う。
- ・実施場所；東京(予定)
- ・実施日時；未定
- ・対象者；WGメンバー

④事業名：LLL(Life Long Learning)受講に向けた事前学習会開催事業(教育委員会)

- ・内容；LLL事前学習会の開催
ESPENの教育ツールLLLの自己学習を補助するため、事前学習会を開催予定。
- ・実施場所；東京(北里大学白金キャンパス)
- ・実施日時；第1コース目：2019年12月21日、2020年1月18日、2月8日
第2コース目：2020年5月～7月(未定)
- ・対象者；会員および非会員(医師およびメディカルスタッフ)(各コース50名予定)

⑤事業名：NST専門療法士受験必須セミナー開催事業(教育委員会)

- ・内容；臨床現場での基本的事項、適切な栄養療法の普及と質の向上のために、非会員も対象とし、多職種向けのセミナーを開催する(下記の予定)。
- ・実施場所；第1回：京都、第2回：横浜、第3回：京都、第4回：九州
- ・実施日時；第1回：2020年2月28日～29日、第2回：6月20日～21日、第3回：7月18日～19日、第4回：10月24日～25日
- ・対象者；会員および非会員
(約2,400名[第1回：800名、2回：700名、第3回：550名、第4回：350名(予定)])

⑥事業名：NSTベーシックコース開催事業(教育委員会、専門能力開発委員会(職能3部会))

- ・内容；より適切な栄養療法の実践のために、どうしても知っておきたい基本的な部分を確認して知識を深めるべく、非会員も対象とし、多種職メディカルスタッフ向けのセミナーを開催する。(これまでの栄養士・管理栄養士、看護師、薬剤師部会のトレーニングセミナーの後継)

- ・実施場所；第3回：未定
- ・実施日時；第3回：未定
- ・対象者；会員および非会員 約100名(予定)

⑦事業名：医師・歯科医師教育セミナー用テキスト作成事業(教育委員会、医師・歯科医師セミナーWG)

- ・内容；医師・歯科医師教育セミナーの教育内容の確認とテキスト作成を行う。
- ・実施場所：①メール審議、②必要に応じて開催：東京(学会事務局)
- ・実施日時；①②随時
- ・対象者；WGメンバー、TNT委員長、教育委員長、テキスト執筆者(会員)

⑧事業名：職能別アドバンスコースの開催(教育委員会、専門能力開発委員会(職能3部会))

- ・内容；専門職としての特化した高度な知識あるいは研究の方法を学ぶ場をつくる。
- ・実施場所：未定
- ・実施日時：未定
- ・対象者；NST専門療法士有資格の部会会員(定員 未定)

(12) その他前条の目的を達成するために必要な事業

①事業名：総務統括(総務委員会・財務委員会・将来構想委員会)

- ・内容；1)事務局管理・運営に関する業務を行う。
2)会員管理業務をはじめとしたWEBシステムの改修を進める。
3)本会の健全な財務運営や会員サービス向上のため、事務局機能の向上を図る

○総務委員会・財務委員会

- ・実施場所；事務局、メール審議
- ・実施日時；随時
- ・対象者；委員会委員

○将来構想委員会

- ・内容；当会の将来に向けての改善点の洗い出しと共有の認識を持つことを目的として、適宜会議を行い、理事会へ以下の提言を行う。
- ・実施場所；①メール審議、②東京(学会事務局)
- ・実施日時；①随時、②必要に応じ開催
- ・対象者；委員会委員

②事業名：規約整備事業(規約委員会)

- ・内容；1)一般社団法人日本臨床栄養代謝学会 定款・定款施行細則の見直しを行う。
2)一般社団法人日本臨床栄養代謝学会 各委員会内規及び運営規則の内容評価を行う。
3)一般社団法人日本臨床栄養代謝学会 各委員会内規、運用規程の整備
- ・実施場所；①メール審議、②東京(学会事務局)
- ・実施日時；①随時、②必要に応じ開催
- ・対象者；委員会委員

- ③事業名：代議員・学術評議員選考にかかわる事業(代議員・学術評議員選考WG)
- ・内容：1)選出規定に従い、学術評議員の2020年申請受付を実施する。
2)新支部制度における世話人就任のための学術評議員の申請受付を実施する。
 - ・実施場所：①ホームページ上(申請受付)、②東京(学会事務局)(選考)
 - ・実施日時：①2020年10月1日～10月31日(申請期間)、②2020年11月頃(選考WG)
 - ・対象者：会員
- ④事業名：倫理審査申請に関する事業(倫理・利益相反委員会)
- ・内容：会員の研究内容の倫理審査体制の可能性を審議する。
 - ・実施場所：①メール審議、②東京(学会事務局)
 - ・実施日時：①随時、②必要に応じ開催
- ⑤事業名：会員の研究における倫理審査状況確認システムの構築(倫理・利益相反委員会)
- ・内容：学術集会発表や論文投稿における倫理性維持の確認システムを構築する。
 - ・実施場所：①メール審議、②東京(学会事務局)
 - ・実施日時：①随時、②必要に応じ開催
- ⑥事業名：利益相反に関する確認(倫理・利益相反委員会)
- ・内容：役員、発表者等のCOI申告状況の確認を行う。また、COI指針・細則の運用上の確認を進める。
 - ・実施場所：メール審議。
 - ・実施場所：①メール審議、②東京(学会事務局)
 - ・実施日時：①随時、②必要に応じ開催
- ⑦事業名：コンプライアンス向上に関する事業(倫理・利益相反委員会)
- ・内容：本会のコンプライアンス体制強化の方法に関して協議する。
 - ・実施場所：①メール審議、②東京(学会事務局)
 - ・実施日時：①随時、②必要に応じ開催
- ⑧事業名：栄養士・管理栄養士部会
- ・内容：栄養士・管理栄養士部会会議開催(年2回予定)
 - ・実施場所：東京(学会事務局)
 - ・実施日時：第1回：2020年1月11日、第2回：10月頃(未定)
 - ・検討事項：JSPEN2021パネルディスカッションのテーマと担当者の検討、職能別アドバンスコースのテーマと講師の検討、栄養士・管理栄養士部会の活動内容及び役割分担 など
 - ・対象者：部会委員
- ⑨事業名：薬剤師部会
- ・内容：薬剤師部会会議開催(年3回予定)
 - ・実施場所：第1回・第3回：名古屋、第2回：東京(学会事務局)

- ・実施日時；第1回：2020年4月25日、第2回：7月頃(未定)、第3回：10月頃(未定)
- ・検討事項；次回担当分のNSTベーシックコース、学術集会時の薬剤師部会パネルディスカッション、職能別アドバンスコース、日病薬研修認定単位の配布方法、薬剤師部会予算等の検討など、2020～2021年度の薬剤師部会の活動についての内容検討
- ・対象者；部会委員

⑩事業名：看護師部会

- ・内容；看護師部会会議開催(年2回予定)
- ・実施日時；第1回：2020年7月頃(未定)、第2回：10月頃(未定)
- ・検討事項；2021年第36回学術集会看護師部会パネルディスカッション内容の検討、第36回学術集会に向け『気づく・繋げる・広げる栄養看護』の第3弾(最終回)の企画、NSTベーシックコース開催事業(教育委員会・職能別活動検討委員会主催)の企画など。
- ・実施場所；東京(学会事務局)
- ・対象者；部会委員

⑪事業名：新規JSPENプロジェクト事業

- ・内容；P 001：REDCapプロジェクト、P 002：地域連携推進プロジェクト、P 003：誤接続防止対策プロジェクト、P 004：「静脈経腸栄養テキストブック」改訂プロジェクトに続き、以下の新規プロジェクトの立ち上げを予定する。
P 005：GLIMプロジェクト
P 006：新医師・歯科医師セミナー作成プロジェクト
P 007：ナショナルデータベースプロジェクト

IV. 社員総会の開催

第7回定時社員総会

- ・日時；2020年2月26日 16：00～19：00
- ・場所；国立京都国際会館 Room A
- ・社員総数；232名

V. 理事会・その他の役員会の開催

- 第1回定例理事会 2020年2月26日 12：00～15：30 国立京都国際会館 104
- 第2回定例理事会 2020年5月(予定)
- 第3回定例理事会 2020年8月(予定)
- 第4回定例理事会 2020年11月(予定)

以上